

2026年度

研究助成

**食物アレルギーに関連する
問題解決を目指す
研究者及び研究グループに対する
助成事業**です。

募集期間

2025年 **7/18**金



2025年 **9/30**火

消印有効

対象研究領域

- ① 食物アレルギー対応食品に関する研究
- ② 食物アレルギーの予防に関する研究

- ③ 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
- ④ 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
- ⑤ 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

上記領域はすべて重要ですが、特に①②を歓迎致します。

新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。

募集の
詳細は >>
こちら



| 助成対象期間 | 2026年 4月1日 → 2027年 3月31日

共同研究

上限600万円×5件(予定)

個人研究

上限200万円×15件(予定)

- 専門領域を異にする複数の研究者が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。

- 若手研究者（2026年4月1日時点で45歳以下）による単独研究を対象とします。

その他にも応募条件等があります。詳細は募集要項を必ずご確認ください。



ニッポンハム
食の未来財団

<https://www.miraizaidan.or.jp>

E-mail : info@miraizaidan.or.jp



2025年度 研究助成採択課題 (助成対象期間：2025年4月1日から2026年3月31日)

共同研究助成：受理22件→採択6件 採択率27% 敬称略、50音順

	研究課題名	所属機関・氏名	共同研究者所属機関・氏名
1	高深度プロテオーム解析技術を用いた食物蛋白誘発胃腸症（FPIES）における好中球活性化機序の解明	千葉大学大学院医学研究院 総合医科学 特任准教授 井上 祐三朗	かずさ DNA 研究所 ユニットリーダー 川島 祐介 東海大学 小児科学 教授 山田 佳之
2	野菜摂取と学童期の食物アレルギー：腸内細菌を含む網羅的コホート研究	龍谷大学 農学部 食品栄養学科 小児保健栄養学研究室 教授 楠 隆	栄養・病理学研究所 代表 塚原 隆充 奈良県立医科大学臨床研究センター 講師 武内 治郎
3	アレルギー親和性に着目した IgE 受容体制御の分子基盤の解明と不応答誘導抗体の開発	金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 教授 鈴木 亮	名古屋市立大学医薬学総合研究院（薬学） 教授 平嶋 尚英
4	ピーナッツ由来ナノ粒子・アジュバント搭載 DNA ハイドロゲルの皮内投与によるピーナツアレルギーの発症予防	東京理科大学 薬学部 教授 西川 元也	京都大学 化学研究所 教授 上杉 志成 東京大学医科学研究所 教授 石井 健
5	好酸球性消化管疾患の食事療法、非即時型食物アレルギー対応食品の認定条件設定のための研究	国立成育医療研究センター研究所 好酸球性消化管疾患研究室 室長 野村 伊知郎	東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御分野 教授 新藏 礼子 国立成育医療研究センター 栄養管理部 室長 宮本 佳世子
6	乳児湿疹からアトピー性皮膚炎への進展と食物感作予測のための腸内・皮膚環境因子バイオマーカー探索	学校法人慶應義塾 慶応義塾大学先端生命科学研究所 特任教授 福田 真嗣	産婦人科小児科三井病院 副院長 三井 直也 内野産婦人科外科小児科 医師 小峰 由美子 千葉大学予防医学センター 特任教授 下条 直樹 千葉大学医学部附属病院 特任講師 宮地 秀明 千葉大学医学部 小児科 助教 中野 泰至 秋田大学大学院医学系研究科 教授 河野 通浩 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 秋山 真志

個人研究助成：受理21件→採択15件 採択率71% 敬称略、50音順

	研究課題名	所属機関・氏名
1	腸内細菌叢に着目した「卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎症候群（FPIES）」の病因解明と新規予防・治療戦略の開発	関西医科大学医学部小児科学講座 講師 赤川 翔平
2	シングルセルシーケンスを用いたアレルギー患者における特異的 B 細胞受容体の特定とその B 細胞の変異過程の解明	香川大学バイオインフォマティクス解析センター 特命助教 石川 昌和
3	食物アレルギー発症に関与しうる母乳免疫細胞の存在と機能の解明	九州大学 生体防御医学研究所 免疫遺伝学分野 助教 國村 和史
4	レジリエンスで未来をつなぐ：食物アレルギー児とその保護者の Quality of life 向上を目指した疾患理解と支援策の開発	昭和大学 医学部 小児科学講座 助教 関 沙和
5	経口免疫療法後の運動誘発症状の機序に関する検討	あいち小児保健医療総合センター 医長 高里 良宏
6	食物経口負荷試験後の適切な摂取量および頻度の検討	独立行政法人 国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 臨床研究推進部 疫学統計研究室 室長 高橋 亨平
7	末梢感覚神経による食物アレルギーの症状誘発制御機構の解明	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 流動研究員 溜 雅人
8	母乳と牛乳間のタンパク質の交差抗原性の解析	名古屋学芸大学 管理栄養学部 助教 内藤 宙大
9	臓器連関に着目した花粉食物アレルギー症候群の重症化予防の検討	酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 講師 中村 達朗
10	機械学習を用いた食物経口負荷試験結果予測モデルの作成	近畿大学病院 小児科 初期研修医 廣瀬 卓
11	粘膜組織樹状細胞の免疫寛容性維持機構の解明と新規食物アレルギー予防法の開発	宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座免疫学分野 助教 深谷 知宏
12	デザイナー細胞外小胞を用いた食物アレルギーの予防・治療法の創出	摂南大学 薬学部 講師 松田 将也
13	ピーナツアレルギーマウスの経口療法における治療効果の検討	浜松医科大学医学部附属病院 周産母子センター 診療助教 松永 真由美
14	牛乳アレルギー患者が安全かつ効果的に乳製品を摂取可能とする食事導入指導法の開発	神奈川県立こども医療センター アレルギー科 有給研修医 松本 由里香
15	卵黄による食物タンパク誘発胃腸症の新規バイオマーカーの探索	国立病院機構三重病院 臨床研究部 研究員 山田 慎吾

